

宮崎県気候変動適応センター通信 第36号

宅配便 できるだけ1回で受け取りませんか

宅配便の再配達は、環境負荷の増加や社会的損失を招いていることから、再配達削減に向けて新たな取り組みが必要となっています。

ライフスタイルの変化とともに電子商取引（EC）が急速に拡大し、宅配便の取り扱い個数が増加している一方、宅配便の再配達はCO2排出量の増加やドライバー不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっています。

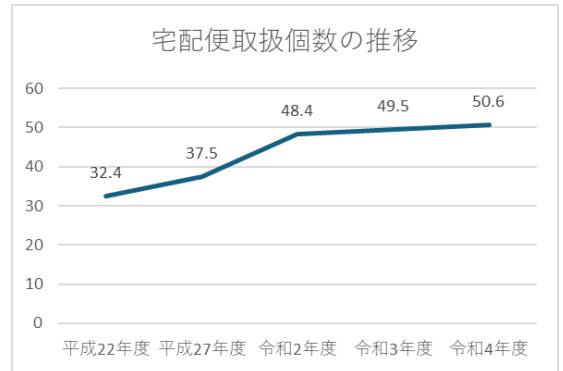
令和6年4月の宅配便の再配達率は約**10.4%**

(単位：個)

	総数	再配達数	再配達率
都市部	790,985	90,164	11.40%
都市部近郊	1,477,625	147,748	10.00%
地方	142,936	11,979	8.40%
総計	2,411,246	249,891	10.40%

資料：国土交通省（令和6年6月）

(単位：億個)



再配達発生によるCO2排出量(2020年度推計)

再配達によって

約**25.4**万トン／年のCO2が排出

東京23区の面積の約**1.7**倍と同規模の杉林年間CO2吸収量に匹敵

引用：国土交通省（多様なライフスタイルをささえる持続可能な宅配の実現に向けた手引き）

宅配便をなるべく1回で受け取るために

○時間帯指定

通販サイトやフリマサイトでの買い物等、あらかじめ荷物が届く予定がわかる場合は、確実に受け取れる日時を指定しましょう。



○各事業者が提供するコミュニケーションツール

事業者が提供するコミュニケーションツール（アプリやLINE、メール等）により、荷物の配送情報等を確認できます。



○多様な受取方

荷物の種類や事業者によっては、宅配ロッカーや提携するコンビニエンスストア等、自宅以外の場所を受取場所として指定することも可能です。



宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin@pref.miyazaki.lg.jp